科目名：衛生学・公衆衛生学 (Environmental and Public Health) 履修年次/時期：2 年次 前期 授業形態：講義 主担当教員：戸田真司 [実務経験 歯科医師 25 年 (うち地方公務員として保健福祉分野における業務に 10 年間従事)] : 実務経験から地域社会の生活者である地域住民の疾病予防と健康増進を支援するために必要な衛生学・公衆衛生学に関する基礎的知識が身につくとともに、地域保健活動の意義および必要性について理解が進むよう授業を行う。		必 2 単位 (90 時間)	
学修目的	衛生学は疾病を予防し健康を保持増進することによって人としての機能や能力を十分発揮できるようにするための学問である。健康と予防医学の概念、人をとりまく自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学修する。具体的には人口問題や環境変化による健康影響、健康に係わる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。 CP2, 4 に関連する。 科目 No.S2B07H02		
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。	○
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。	○
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。	○
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP		
	○： この講義・演習・実習と関連がある DP		
到達目標	生活環境や公衆衛生の現状を学修することで、社会生活・社会制度のもとで健康を保持増進するために必要な知識と技術を修得する。さらに、他医療職と連携をとりながら地域住民に対する疾病予防と健康増進を支援するとともに、地域社会で保健活動を実践することができる。 ①人口統計を説明できる。 ②環境と健康との関係について説明できる。 ③感染症を説明できる。 ④生活習慣と生活習慣病について説明できる。 ⑤ライフステージに対応した地域保健活動を説明できる。		
授業概要	衛生学・公衆衛生学は、衛生学という基礎の上になりたっている社会医学の一分野である。個人衛生、環境衛生、公害、母子保健、学校保健、地域保健、産業保健、食品衛生、住居衛生、精神衛生など広範囲にわたり、医療従事者としての基礎知識と保健活動の知識を養う。近年では、さらに地球規模の環境保全が重要視されている。		
評価方法	学期末本試験 (100 点満点) 授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。 授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。		

	試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。
予習・ 復習時間	【予習】2.0時間 【復習】2.0時間
教科書	医療スタッフのための衛生学エッセンス -2024/2025- (学建書院)
参考書	講義中に紹介します。
オフィス- 連絡先	戸田 真司：月～金曜日 12:20～12:50、16:00～17:00 4号館 2階 (戸田研究室) toda.s@kdu.ac.jp 出張や会議などにて不在の場合がありますので、事前にメールをいただくと円滑に対応できます。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/8)	健康と公衆衛生 (1) ①健康の概念と健康増進を説明できる。 ②疾病の自然史と予防の考え方を説明できる。 ③生涯を通じた保健の取組みを説明できる。	[予習・復習]教科書 p1~8 [キーワード]衛生学、主な死因の構成割合、主な死因別粗死亡率にみた死亡率の年次推移、健康の連続概念、プレスローの7つの健康習慣、予防の3相5段階、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション、QOL、	講義 ○戸田
2 (4/15)	健康と公衆衛生 (2) ④健康づくり運動の変遷と現状を説明できる。 人口 (1) ①平均余命、平均寿命、健康寿命を説明できる。 ②人口静態統計を説明できる。	[予習・復習]教科書 p8~11、13~15、21・22 [キーワード]平均余命、平均寿命、健康寿命、健康づくり運動の変遷と現状、健康日本 21、ポピュレーションアプローチ、ハイリスクアプローチ、国際生活機能分類、人口静態統計、国勢調査、人口ピラミッド	講義 ○戸田
3 (4/22)	人口 (2) ①人口の推移と年齢別人口構造の変化を説明できる。 ②人口動態統計を説明できる。	[予習・復習]教科書 p15~21 [キーワード]年齢3区分人口指標、人口静態統計、国勢調査、人口動態統計、出生・死亡に関する指標	講義 ○戸田
4 (5/13)	環境と健康 (1) ①地球温暖化について説明できる。 ②地球環境と健康について説明できる。 ③地球環境の保全対策について説明できる。 ④空気の性状と健康について説明できる。	[予習・復習]教科書 p23~27 [キーワード]地球温暖化、温室効果ガス、京都議定書、オゾン層、酸性雨、空気の正常成分と異常成分、二酸化炭素の衛生学的許容濃度	講義 ○戸田
5 (5/20)	環境と健康 (2) ①飲料水と健康について説明できる。 ②水道水を説明できる。 ③下水道と下水処理、水質汚濁の指標を説明できる。 ④温熱環境・気候と健康について説明できる。	[予習・復習]教科書 p27~31 [キーワード]、水道法、水系感染症、浄水法、活性汚泥法、水質汚濁の指標、温熱の四要素、感覚温度、不快指数	講義 ○戸田
6 (5/27)	環境と健康 (3) ①環境適応・住環境と健康について説明できる。 ②放射線と健康について説明できる。 ③環境保全と公害防止を説明できる。 ④廃棄物の分類と廃棄物処理の流れを説明できる。 ⑤医療機関からの廃棄物を説明できる。	[予習・復習]教科書 p31~37 [キーワード]昼光率、均斉度、非電離放射線、電離放射線、環境基本法、四大公害病、大気汚染、水質汚濁、廃棄物の処理および清掃に関する法律、一般廃棄物、産業廃棄物、バイオハザードマーク、産業廃棄物管理票	講義 ○戸田
7 (5/29) ※木曜日 2 限	感染症 (1) ①感染症成立の3要素について説明できる。	[予習・復習]教科書 p47~56 [キーワード]、感染源、感染経路、宿	講義 ○戸田

目	②感染症予防の感染源対策、感染経路対策、宿主感受性対策を説明できる。 ③法律に基づく感染症対策を説明できる。 ④感染症法に基づく感染症類型と対応を説明できる。 ⑤主な感染症の発生動向を説明できる。	主感受性、新興感染症、再興感染症、感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律、予防接種法、検疫法、学校保健安全法、	
8 (6/3)	感染症 (2) ⑤院内感染とその防止を説明できる。 生活習慣と生活習慣病 ①ライフスタイルと生活習慣病との関連を説明できる。 ②主な生活習慣病とその予防を説明できる。	[予習・復習]教科書p56・57、59-62 [キーワード]院内の感染経路、スタンダードプレコーション、国民健康・栄養調査、日本人の主な生活習慣、生活習慣病、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、糖尿病	講義 ○戸田
9 (6/10)	食品と健康 ①食中毒の分類と発生動向を説明できる。 ②食中毒の疫学を説明できる。 ③食中毒の予防と対策を説明できる。 地域保健 (1) ①現在の公衆衛生活動 (地域保健活動) の特徴を説明できる。 ②地域保健の組織と役割を説明できる。	[予習・復習]教科書p63~67、69~72 [キーワード]食中毒の分類、細菌・ウイルス性食中毒予防の3原則、ウイルス性食中毒、自然毒食中毒、地域保健、地域保健組織、地域保健法、	講義 ○戸田
10 (6/17)	地域保健 (2) ①保健所と市町村保健センターを説明できる。 ②医療圏と保健医療計画を説明できる。 ③地域保健活動の進め方を説明できる。	[予習・復習]教科書p69~76 [キーワード]保健所、市町村保健センター、医療圏、地域保健活動、PDCAサイクル	講義 ○戸田
11 (6/23) ※月曜日 2 限 目	母子保健 ①母子保健の意義を説明できる。 ②母子保健活動と対策を説明できる。 学校保健 (1) ①学校保健の意義と特徴を説明できる。	[予習・復習]教科書p77~83、85~ [キーワード]母子保健、母子保健法、母子健康手帳、母子保健事業、学校保健安全法、学校における主な疾病・異常	講義 ○戸田
12 (7/1)	学校保健 (2) ②保健教育、保健管理、組織活動を説明できる。①学校保健活動と保健安全対策を説明できる。 成人・高齢者保健 (1) ①成人・高齢者保健の意義と特徴を説明できる。 ②成人保健対策を説明できる。	[予習・復習]教科書p77~93、95~98 [キーワード]保健教育、学校保健の対人管理、学校における健康診断、学校感染症、学校において予防すべき感染症 (学校感染症)、学校病、学校三師の職務、成人保健、高齢者医療確保法、特定健康診査、特定保健指導、健康増進法が規定する健康診査	講義 ○戸田
13 (7/8)	成人・高齢者保健 (2) ①高齢者保健の意義を説明できる。	[予習・復習]教科書p99~105 [キーワード]高齢者保健、高齢者医療	講義 ○戸田

	②高齢者の保健福祉対策を説明できる。 ③要介護者の保健福祉対策を説明できる。	確保法、介護保険法、介護保険制度、地域包括支援センター、介護保険施設、介護サービス、介護予防サービス、地域包括ケアシステム、新オレンジプラン	
14 (7/8) ※3 限目	産業保健 ①産業保健の意義を説明できる。 ②産業保健の管理体制を説明できる。 ③産業保健対策を説明できる。	[予習・復習]教科書p107~114 [キーワード]産業保健、労働安全衛生法、職業性疾病、産業保健の三管理、産業医、一般健康診断、特殊健康診断	講義 ○戸田
15 (7/15)	精神保健 ①精神保健の意義を説明できる。 ②発育に伴う精神保健の問題点を説明できる。 ③地域の精神保健福祉対策を説明できる。 ④精神障害者の社会復帰政策を説明できる。	[予習・復習]教科書p115~121 [キーワード]社会復帰、自立支援、発達障害、児童虐待、保健所、精神保健福祉センター精神保健福祉法、障害者総合支援法、	講義 ○戸田